広報
さめがわ

昭和57年
11月号
No. 347
編集兼発行
鮫川村役場
協町佐藤印刷所

阿武隈開発の成果をたずねる中国視察団



中華人民共和国河北農業大学の訪日視察団が、秋晴れの10月30日鮫川村を訪れました。

一行は河北農業大学副校長の王祖武先生を団長とする同大学の先生方と隨員で、わが村が行った阿武隈山系開発事業の方式や成果を視察して、中国の太行山脈開発の資料とするのが目的とのことでした。

午前9時村に着いた一行は、先づ山村開発センターで石田村長から説明をうけ、鹿角平乾草供給センターで開発の実体や、乾草生産の機械操作などを見学し、代表的な畜産農家の沢口和久さんの肉牛飼育を視察し、得ることの多かったことを感謝しながら離村されました。

（写真中央が王祖武団長、右が石田村長の説明を通訳している頼俊銘先生・乾草供給センターで）

- ⊙ 11月20日～22日　第35回鮫川村文化祭
- ⊙ 11月1日～30日　全国青少年健全育成強調月間
- ⊙ 11月26日～12月2日　秋の全国火災予防運動

今月の人口
（11月1日現在）

		前月比
人口	5,599	(＋6)
男	2,776	(＋4)
女	2,823	(＋2)
世帯	1,127	(－1)

ラジオ体操優良団体表彰
西山小が東北地方表彰
渡瀬小に福島県表彰

ラジオ体操を体力づくりの基本として、各小学校が積極的に取り組んでいますが、このたび、一千万人ラジオ体操祭の優良団体として西山小学校と渡瀬小学校の児童会体操会が表彰されました。

表彰式は一〇月一五日、福島郵便局長・NHK福島放送局長らが出席して、それぞれの学校で行われ、西山小学校には福島県でただ一校の東北地方表彰、渡瀬小学校には福島県表彰が、福島郵便局長から贈られました。



福島郵便局長から表彰される西山小の児童たち

税を知る週間
11月11日～17日

11月11日から1週間は「税を知る週間」です。税金は、社会生活を営む上でなくてはならないものです。

「税を知る週間」を機会に、税の仕組みや使いみちを正しく理解し、税の大切さを考えてみましょう。

村長の歩み (43)

けわしい道・冷害の克服

村長　石田卯子八

稲作期間中不順に経過した今年の気象も、一〇月末には温暖晴天の幾日かがあり、収獲調製の時期に入りました。

三年続きの不作が実数に出てくるわけで、苦心された農家のご心情が深く思いやられます。

今年の冷害には今年なりの特異性があり、昭和五五年冷害が最凶型とすれば、昭和五六年は低迷型というべく、昭和五七年はバラツキ型というべきかと思います。

わが村の場合、標高四〇〇mまでの地域では平年には達しないものの、ある程度の収穫が見込まれていますが、五〇〇mを越えると障害不稔、遅延青立ちが多く、病害も加わって皆無地も見られます。

地域差が大きく、個人差、品種や耕種技術の較差が大きく開いているのが特徴であります。

これは今年の気温の推移に符合するものと見ております。

六月上中旬までの気温は順調で稲の活着もよく、分蘖も早期に初まったのですが、七月の花器形成期に、わが村では平均気温二二・三度以上必要とする時期に、一九度台で経過したため、障害不稔の原因をつくったのであります。

出穂開花期には二四度以上望まれる時期に、二二度程度であったため成育遅延、受精障害が起りました。早生種がかえって障害不稔になった現象も、この低温にどの時点で遭遇したかを考えると解釈がつくのであります。

冷害は東北農業の宿命であり、これを越える道はまことにけわしい道であります。しかし幾多の先人がこれに挑戦して、長い歳月と限りない努力をつくして、現在の耐冷品種が創出され、耐冷耕種技術が発達してきたのです。

われわれはこれに新しい努力と工夫を加えて、克服の道を確立して行かなければなりません。

品種や耕種法の時期の組合せで危険を分散することや、稲作の経営に占める比率を、畜産や園芸、特用作物で相当程度肩代りすることも、一層徹底して行う必要がありましょう。

新しい作目の創案も是非期待したいものであります。

当面の行政的対策としては

1 農業共済金の適正計算と早期支払い
2 災害対策資金枠の拡大
3 救農土木事業の実施
4 規格外米の全量買入、予約概算金の延納、利子の免除
5 納税、貸付料、諸償還金の延納
6 国有林材の繰上特売の実施

その他を国県営林局等に強く要望陳情しているところであります。

今月の納税

固定資産税（第四期分）
国民健康保険税（第六期分）
納期限　一一月二五日

心配ごと相談

一一月二五日（木）
午前一〇時～午後二時
山村開発センター

おめでた

九月

福原　大河内　淳　父大河内敏夫
青生野　堀川　育代　父堀川信四郎
岫長　北條　隆弘　父北條伊佐美

十月

鍛治平　坂本　俊哉　父坂本喜一
木戸沢　石井千恵美　父石井照也
鍬木田　坂本　隆　父坂本一郎
広畑　西島　将晃　父西島　将
酒垂　石井　友子　父石井政夫
内ケ竜　宗田　幸　父宗田貞雄
草牛　田子志津江　父田子　勝

おくやみ

十月

年齢　世帯主
戸草　松崎　イノ73歳松崎昭義
蕨ノ草　鈴木　マス83歳鈴木　醇

急ピッチで進む建設工事

県立東白農商高校鮫川分校舎

来年は体育館の建築も

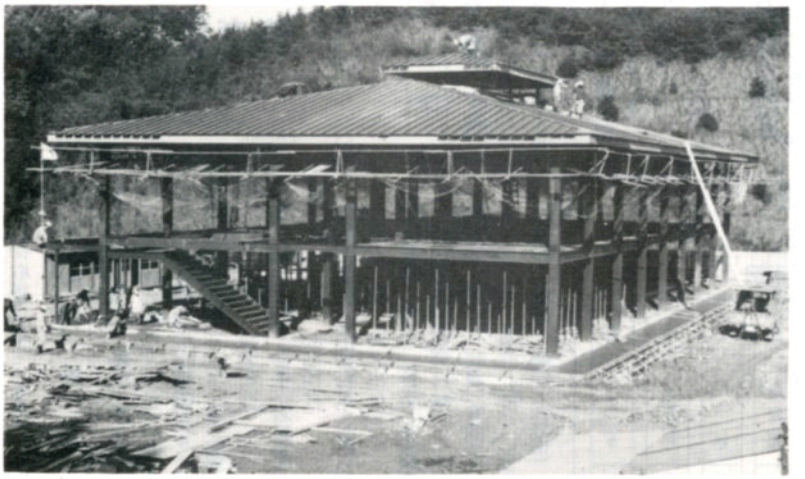
村民運動場の一角に建築中の県立東白川農商高校鮫川分校舎は、五八年二月の完成をめざして急ピッチで工事が行われています。

同校は、昭和二三年四月に県立東白川農商高校の分校として発足以来、幾多の変遷を経て現在に至りました。

しかし校舎の老朽化が進むにつれ廃校の話も出るようになったが村当局初め関係者の強力な要望運動により校舎新築が実現したものです。

建設される新校舎は、鉄骨造二階建のモダンな建物で、総事業費は二億四、六一四万円。今年の七月から工事が行われ、来年の二月には完成する予定です。

校舎完成後は引き続き体育館の建設も約束されており、生徒や関係者からは一日も早い完成が待たれています。



来年2月完成予定のモダンな東白農商鮫川分校

栄光に輝く交通功労章

大楽勝男さん



大楽勝男さん（前村議会議長）は、多年にわたって交通事故防止のため献身的努力をつくされた功労により、このたび東北管区警察局長から感謝状と県内では珍らしい交通功労章を贈られました。

大竹茂さんに 農林水産大臣感謝状

農林水産統計調査の協力者として、このほど大竹茂さん（村議・西山字菅野目）に農林水産大臣の感謝状が贈られました。

大竹さんは、東北農政局福島統計情報事務所で実施している農家経済調査の記帳農家として多年にわたり協力されました。

前田正孝さんに 県統計協会長表彰

一〇月二〇日須賀川市文化センターで開かれた第三二回福島県統計大会で、統計調査員の前田正孝さん（赤坂東野字官代）が、統計功労者として福島県統計協会長表彰を受けられました。



工事が進む西野区運動広場

赤坂西野区運動広場造成工事は順調に進行

新農業構造改善事業で本年度に実施する計画の赤坂西野区運動広場造成工事は、九月一〇日に入札を行い、村内の湯座工業（社長湯座清）が一、三九八万円で落札しました。

工事は九月一一日に着工し、暗渠排水工事、敷地造成工事と順調に進み一二月二〇日の完成を目ざして熱心な作業が続けられています。

運動場の面積は七、三五四・七㎡で、ソフトボール、野球、運動会等に十分活用される広さです。

各課めぐり

教育委員会部局

今月は教育委員会部局についてお知らせします。

学校教育課

教育次長　矢吹　義照（広畑）
◇教育長を補佐し、事務局の事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

係長　鈴木　勲（伏木田）
◇学校教育関係予算の編成執行及び決算に関すること
◇各種教育事業施設の管理に関すること

主事　芳賀伊津子（江竜田）
◇公文書の収受発送整理、保管に関すること
◇学令児童、生徒の就学事務に関すること

自動車整備管理主任・運転手　舟木　利次（寅卯平）
運転手　小滝　健一（新宿）
◇自動車の整備管理及びスクールバスの運転に関する業務

用務員　大河内由夫（宿ノ入）
◇中学校の用務及びボイラー・危険物取扱に関する業務

鮫川幼稚園

園長　添田　剛弘（鍬木田）
◇幼稚園の事務及び業務を掌理し、所属職員の指揮監督をする

教諭　赤坂　京子（木之根）
◇かえで組　34名担任

教諭　松崎　幸子（岩野草）
◇さくら組　33名担任

助教諭（嘱託）　藤田智枝子（関口）
◇ぽぷら組　34名担任

養護助教諭　窪木　征子（広畑）
◇園児の健康養護に関する業務

（兼）運転手　舟木　利次（寅卯平）
◇送迎バスの運転に関する業務

（兼）運転手　小滝　健一（新宿）
◇送迎バスの運転に関する業務

学校給食センター

所長　高坂　幸男（上）
◇給食センターの事務及び業務を掌理し、所属職員の指揮監督をする

運転手　南条　仁孝（新宿）
運転手　高木　市郎（薄ケ久保）
運転手　斉藤　一郎（吉合）
◇スクールバス及び給食の運搬に関する業務

栄養士（県職員）　西野　光枝（名下）
◇給食用食品の献立、栄養、衛生等に関すること

調理員　湯座セキ子（道少田）
調理員　金沢　久（真坂）
調理員　岡崎かつ子（新宿）
◇給食用食品の調理に関する業務

社会教育課

課長　鈴木　英亮（大塩）
◇社会教育課の事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

社教主事兼係長　芳賀　正訓（江竜田）
◇社会教育一般行政、芸術、文化、文化財及び教育施設に関すること。

社会教育指導員（嘱託）　下重　三男（関口耕地）
◇社会体育及びスポーツ安全傷害保険に関すること。

鮫川村公民館

（兼）館長　鈴木　英亮（大塩）
◇公民館の事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

（兼）副館長　芳賀　正訓（江竜田）
◇館長の職務遂行を補佐し、公民館に係る事務を整理する

（兼）主査　鈴木和則（蕨の草）
◇社会学級、婦人学級、その他各種学級等の開催、成人式公民館結婚式等に関すること

歴史民俗資料館

（兼）館長　鈴木　英亮（大塩）
◇資料館の事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

（兼）係長　芳賀　正訓（江竜田）
◇歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して公衆の利用に関すること。

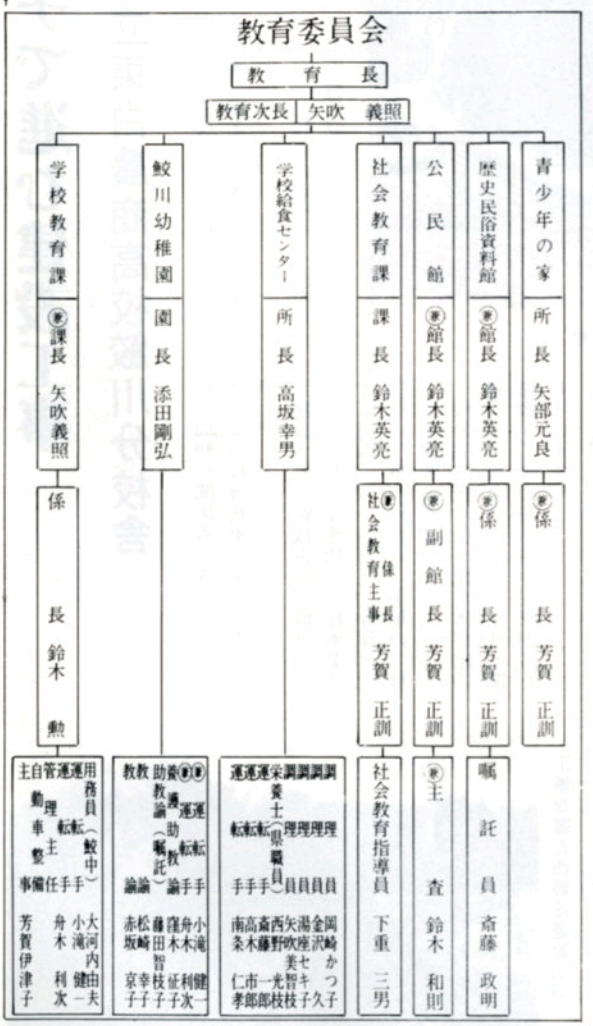
嘱託員　斉藤　政明（草牛）
◇図書貸出し、整理保存、学校の移動図書等に関すること

鮫川村青少年の家

所長事務取扱　矢部　元良
◇青少年の家に係る事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする

（兼）係長　芳賀　正訓（江竜田）
◇青少年の家に関する事務。

教育委員会




昨年の素人のど自慢大会



みんなで出かけよう

文化祭

11月20日～22日

第35回鮫川村文化祭は次の日程で開催されます。今年もバラエティーにとんだたのしい催しがたくさん予定されています。多数の皆様のご参加、ご出陳、ご観覧をお待ちしております。

農業者トレーニングセンター

19	◆ 小中学校学習発表会
21	◆ お母さんお嫁さんに感謝する会 ○優良健康赤ちゃん表彰 ○小中学生感謝作文発表 ○アトラクション 民謡・おどり 【一般公開】 一本道のぼるチャリティー歌謡ショー （村出身の演歌歌手） ◆ 素人のど自慢大会
22	◆ 明日をひらく農業振興シンポジゥム ◆ 青年夕べの集い

山村開発センター

20～22	◆ 村政広報展 ◆ 地震体験車試乗会 ◆ 生活工夫展 ◆ 農林産物品評会 ◆ 農業改良展 ◆ 生活改善展 ◆ 老人作品展 ◆ 一般作品展 ◆ 華道展 ◆ 盆栽展 ◆ 版画展 ◆ 書道展 ◆ 逓信館
21	◆ お茶会

歴史民俗資料館

20～22	◆ 色紙合作展 ◆ 中井恒峯日本画展 ◆ 鷲野谷昇陶芸展 ◆ 文化財写真展 ◆ 鮫川村埋蔵文化財展 ◆ ふるさとの農業展



鮫川小学校

20～22	◆ 幼児作品展

商工会館

20～22	◆ 商工展

農協事務所

20～22	◆ 農協展

鮫川幼稚園

20～22	◆ 小中高校児童生徒作品展

昼間に比べ致死率は約三倍

夜間の交通事故



夜間の交通事故は、昼間に比べて死亡につながるケースが非常に多く、高い危険性をはらんでいます。

昭和五六年中の昼夜別の交通事故件数を見ると、昼間四八・一%、夜間五一・九%とほぼ同じ割合ですが、これを致死率（交通事故千件あたりの死亡事故件数）で見ると、昼間一一・二に対して夜間は三三・〇と約三倍になっています。

このことからも、夜間の場合、いったん交通事故が起こると、昼間に比べて死亡するケースがグンと増えることが分かります。

これから夜の長くなる冬場に向かいます。ドライバーの皆さんは次の点に十分注意してください。

ライトは早めにつけよう

——意外と暗い夕暮れ時——

薄暮の時間は、刻々とやみに向かって時を刻むので、わたしたちが〝まだ明るいから〟と感じる以上に、実際には、暗い場合が多いのです。ライトは早めにつけよう。

■スピードは昼間より控えめに

——夜間は〝視覚情報〟が極端に少ない——

夜間は、運転に必要な視覚からの情報量が、昼間に比べて極端に少なくなり、速度感覚が鈍化します。スピードは昼間より控え目に。

■歩行者の横断に十分な注意を

——道路中央で一瞬消える〝蒸発現象〟——

自分の車と対向車のライトが交錯して、道路中央の歩行者が一時的に見えなくなる蒸発現象が起こるのも夜間の特徴です。

対向車のあるときはライトを必ず下向きにし、歩行者を見つけたら、より一層の注意をしよう。



大物ギャング（イノシシ）捕殺される

さる10月18日、石井草地内で稲や野菜などを荒らしまわっていたイノシシが、鮫川村有害鳥獣駆除隊（隊長、船木正衛・隊員数25名）によって捕殺されました。このイノシシは、オス２歳、体重約60kgもある大物で、今年始めての獲物でした。

公共事業入札情報

10月13日入札

工事名	落札額	落札者
農業用施設災害復旧工事（塩倉地区）	千円 850	鮫川村 湯座建設
〃（前沼地区）	4,750	石川町 水谷工業
〃（二反田地区）	3,700	塙町 深谷建設
〃（彦次郎地区）	2,350	鮫川村 東白・リーズ
渡瀬小学校プール塗装工事	1,080	いわき市 福島水交産業

10月30日入札

関口・鹿角平線県単林道開設工事	2,700	塙町 山本組
林道大横場線道路災害復旧工事	10,000	塙町 深谷建設
40㎡級無蓋防火水そう設置工事（吉合地内）	1,850	鮫川村 新妻建業
鮫川小学校フェンス取付工事	1,450	鮫川村 鮫川鉄工所



元気あふれる小学校連合運動会

雨のため延期されていた村内６小学校の連合運動会が、10月19日村民運動場でにぎやかに開かれました。先づ元気のよい堂々の入場行進から初まり、小雨模様もいつしか晴れて、走る、跳ぶ、投げる、踊るの全行事を見事にこなして散会しました。

こんにゃく先進地研修に参加して

赤坂東野字伊柳沢　藤田　進

県農業試験場こんにゃく試験地主催の中堅青年県外主産地視察研修が、八月二五日から一泊二日の日程で行われ、群馬県の主産地や優良農家、こんにゃくの問屋街などを視察してきました。

本村からは伊柳沢の藤田進さんと中沢の矢吹利光さんが参加しましたので感想を寄せていただきました。



研修に参加した矢吹さん（一番右）と藤田さん（右から二人目）

福島県こんにゃく中堅青年養成講習会の受講生として、本村から中沢の矢吹利光君と二人で視察研修に参加してきました。

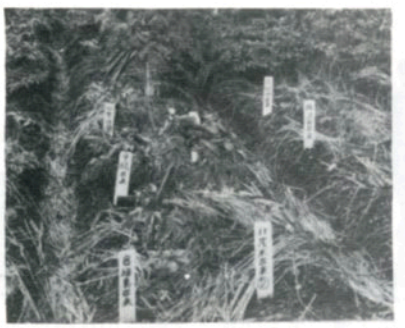
まずおどろかされたことは、栽培法も、品種も、想像とは違っていたことでした。福島県では在来種が奨励されていますが、こんにゃく生産全国一の群馬県では支那玉が中心なのです。その理由は、品質的には若干落ちるが、病気に強く、生産性も高く、約二年で出荷できることにあるようです。

ほ場のイメージは〝山の段々畑にこんにゃく〟と描いていたのですが、今は段々畑にこんにゃくの姿はなく、近年の安値と農業後継者不足の影響なのだろうと思いました。

このような中で、子持村の生方新太郎氏の経営は見事でした。こんな低迷している中でも、専業化して経営しているのです。これは自分の経営の合理化に努めているからだと思いました。

そのあと群馬県のこんにゃく試験地を見学しました。試験地は品種改良が主であり、新しく交配された品種が作付してありました。その品種が普及されるまでは十数年かかるとのことでした。この試験地で作られた品種には「はるなくろ」と「赤城大玉」があるそうです。

最も印象的だったのは、こんにゃくが主産物であることから、消毒の回数が非常に多いことでした。



群馬県のこんにゃく試験地

小野西

四年生が社会科の学習
――役場庁舎や議会の様子を見学――

西野小学校四年生の児童たち一一人が、社会科の現地学習として九月二八日役場を訪れ、この日開かれていた九月定例村議会の様子や、役場内などを見学しました。

このときのお礼の手紙の一部を紹介します。

四年　矢吹容子

役場を見学させて頂いて、どうもありがとうございました。いい勉強になりました。こんないい勉強は、三年生の人達にもやらせてあげたいと思います。

議会は初めて見たんですけどもみんな真剣で、ひとつの話でもいっしょうけんめい話し合っていました。

集会所の学習でも、たくさんのことが分りました。集会所は、みんなの集まりやすい所、つまり中心に建ててあります。そして、みんなの役に立っています。

おねがいがあります。それは、西野にも一つ公園を作ってほしいのです。中野に公園ができても、めったに遊べないのでぜひおねがいします。

四年　矢吹一恵

この前は、ありがとうございました。役場では、いろいろなせわをしてくれて、ありがとうございました。

さいしょに見学したのは議会でした。議会では、マツクイムシの話しなどをしていました。下にきてからは、係などのしょうかい。

それに村長さんのへやなど見せてもらいました。

役場見学のとき、ぼくたちはいっぱい資料を持っていきました。それは、公園をつくるための計画です。ぼくたちは、ぜったい公園がほしいと考えました。それは、道路で遊んでいると、交通事故にあったりするからです。公園があれば、あまり交通事故のない村になると思います。

公民館だより

公民館結婚式

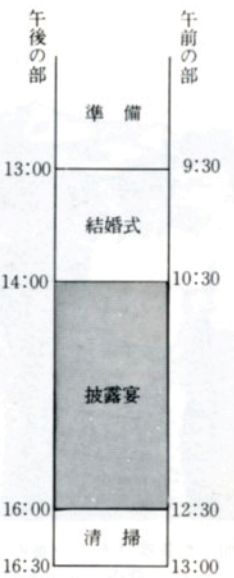
実施方法一部改正される

公民館結婚式は、生活合理化運動の趣旨から村民に広く利用されていますが、一一月一日開催された公民館と開発センター運営委員会で審議され、れた結果、一層効率的で有意義なものにするため、実施方法の一部を次のように改正することになりました。

●披露宴の時間
一時間三〇分を二時間以内に

●一人当り賄経費
五千円を七千円以内に

時間割



成人式の参加申し込みは

12月15日まで

—村内居住者も忘れずに—

来春の成人者は、昭和三七年四月二日から昭和三八年四月一日までに生れた方です。

村ではこれらの方々のため、昭和五八年一月一五日（成人の日）に成人式を挙行します。

式に参加を希望する方は、次によりお申込みください。

成人者に関すること
①氏名 ②生年月日 ③現住所 ④続柄

保護者に関すること
①氏名 ②住所 ③電話番号

申込みは山村開発センターに、文書または電話（九—二二四七）でお願いします。

村内、村外の居住にかかわらず参加申込みが必要です。



公民館主催の第4回婦人学級は10月26日霊峰といわれる八溝山に登り、水戸天狗党の史蹟を尋ね、帰途矢祭山公園の友情の森の施設を見学しました。



第7回社会学級は10月22日に八溝山系の史蹟探訪というテーマで開催されました。秋晴れの好天に恵まれ、関東平野の雄大な展望はすばらしく、80名の学級生の皆さんから感嘆の声が相次いで出る絶景で、大変よろこばれました。

ふるさとの民話と伝説 —40—

西野・塚本の起因

江戸幕府時代の棚倉街道、現在の切石観世音堂前を往来する道、この観世音堂の少し下の路傍に、四米四方の大きな塚がある。（この塚の土地は今個人所有）この塚に今切石観世音様の御神体の石が建立してあったという。いつとなく、この石が路傍に放りだされ、粗末にされていた。

この石を台にして乗馬すると、いくらおとなしい馬でもあばれて、必ず落馬するという。落馬する度に、どうも変に妙な石だと感じたという。そこで、この石をよく洗って見れば、凡字が刻まれており、これはただの石ではないと、部落の古老達が、部落民と相談しお堂を建て、御神体としてその石を祀つたという。

御神体として祀っても、妙な石ということが世に広まり、馬の病気等には参拝をし、またこの石を削り、家に持ち帰って病馬にのませると病気が治るという。馬ばかりでなく、人間の厄病を治すにもよいといわれ、近郷はもちろん、遠くからも参拝にきたそうだ。

戦後は参拝者も少なくなり、今ではよくよくおまいりする人がなくなったという。

次に、最初のお堂ですが、相当古く地元の元老もいつの建造だか不明だと語る。その古いお堂が、今長遠寺の本堂の前に現存されている。現在の切石観世音堂は、昭和七年に再建された立派なお堂である。

右に記したように、凡字の刻まれた石の建ててあった大きな塚が塚本の起りだという。塚本に塚本という小字がないと語る。

高坂佳材　氏の語りし話
吉田喜雄

村人の健康と体力を高める 健康づくり秋季大会

トレーニングセンターで 開閉会式も盛大に

一〇月一〇日恒例の健康づくり秋季大会はソフトボール二〇チーム。家庭バレーボールは二七チームが参加し、これまでにない大集団の試合いとなりました。

先づ開会式はトレ・センのアリーナに全チームと来賓が参加して行われ、バレーボールはそのまま四コートを使用して熱戦を展開しソフトボールは村民運動場と、渡瀬区民運動広場に別れて競技を進め、壮年ソフトは西野Aチームが優勝、家庭バレーは渡瀬OBチームが優勝で、夏季大会に続いての連続優勝となりました。

閉会式もトレ・センに集合して整然と行われ、トレ・セン使用始めての意義深い大会となりました。

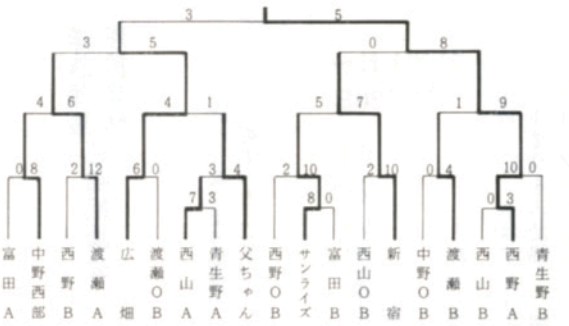


開会を待つ選手団47チーム



連続優勝の栄冠を得た西野Aソフトチーム

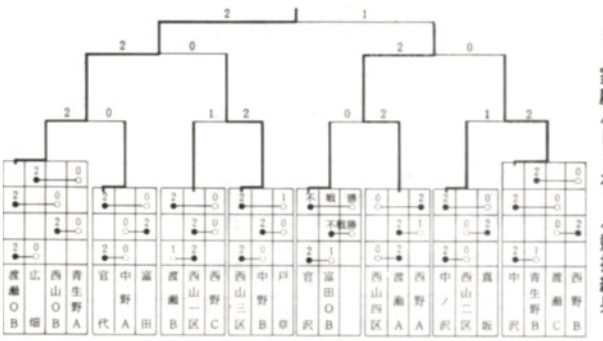
壮年ソフトボール競技結果





連続優勝を重ねる渡瀬OBバレーチーム

家庭バレーボール競技結果



体育指導委員 実技研修会を開く

東白川地方体育指導委員会（生方利夫会長）主催の実技研修会が、一〇月二六日委員五四名参加して村のトレ・センで開催されました。

社会教育の中における社会体育の果す役割と題する須賀川第三小学校岡崎重春先生の講義と実技指導が行われ、有益な研修会でした。

アマチュア写真クラブを結成します

愛好者よ集まれ

村内の愛好者によって、アマチュア写真クラブをつくりたいという要望があるので、計画してみたいと思います。希望者は次により申込んでください。

◇資格　村内居住者（学生は除く）
◇申込先　山村開発センター
☎九―二二四七
◇申込事項　住所、氏名
◇申込期限　一一月三〇日



秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日

火災が起こりやすい時季になりました。皆さん人人ひとりが火の元の点検を行い、火災の発生を未然に防ぎましょう。

「火の用心　心で用心　目で用心」

家庭内で実施したいチェックポイント

○風呂、かまどの焚口、煙突の清掃を行うこと。
○石油ストーブやコンロをコタツに使用しないこと。
○ストーブ、石油風呂釜に給油するときは、火を完全に消してから給油すること。
○電気器具、ガス湯沸器等の取扱いに注意すること。
○タバコの投げすて、寝タバコは絶対にしないこと。
○子供が火に興味を示したら、火の正しい取扱い方と、火の恐しさを良く教えること。
○焚火をする時は消防署へ届出ること。

火事と救急は一一九番

棚倉消防署鮫川分署

移動県政相談のお知らせ

〝安心して生活できる住みよい郷土を作ろう〟と県では皆さんの声を県政に反映させる窓口として移動県政相談コーナーを開設しています。今回は鮫川村山村開発センターで開催しますので、相談したい事がありましたらご遠慮なく利用してください。

【相談内容】

● 県などの仕事に対する意見・苦情または要望など
● 届出、申請書手続きなどわからないこと
● 生活上のことで悩んでいることや困っていること

日　時　一二月七日（火）
午前一〇時～午後三時

場　所　鮫川村山村開発センター

※相談の内容はすべて秘密に扱います。
※当日回答できなかったものは後日速やかに回答します。

（福島県県南行政事務所）

遺族援護恩給業務巡回相談会

この相談会が、次により開催されますので、希望の方はお出かけください。

一、場所　浅川町中央公民館
二、時間　午前九時から午後三時まで
三、相談内容
(一)、戦傷病者援護関係全般について
(二)、戦没者遺族援護関係全般について
(三)、軍人恩給関係全般について

11月1日～11月30日

明るい選挙推進運動30周年記念月間

―きれいな選挙で住みよい社会を―

この機会に、有権者のすべてが、国民参政の意義と、選挙権の重要性を再認識し、明るい選挙推進運動の一層の盛り上がりに努めましょう。

ゴミの収集日

収集コース	種別	収集曜日	12月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	毎週 月 木曜日	2.6.9.13.16 20.23.27
	不燃物	隔週金曜日	3.17
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	毎週 火 木曜日	2.7.9.14.16 21.23
	不燃物	隔週金曜日	3.17
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	隔週木曜日	2.16
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	隔週水曜日	1.15
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	月1回4週 毎の金曜日	10
官代～横久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	隔週金曜日	3.17

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月日（曜）	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
12月5日(日)	菅原		木村
12日(日)	薄葉	中島	
19日(日)	大木	車田	
26日(日)	藤巻	根本	
29日(水)		厚生病院	
30日(木)			慈泉堂
31日(金)		石川	

歳末たすけあい募金にご協力を

「歳末たすけあい運動」
12月1日～25日

